



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3954 URL http://www.showa-paxxs.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野寺 香一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 清水 貴雄 TEL 03-3269-5111
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-----|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第1四半期 | 5,364 | 6.7 | 259 | △30.8 | 354 | △21.4 | 251 | △20.4 |
| 2022年3月期第1四半期 | 5,026 | - | 374 | - | 451 | - | 315 | - |

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 118百万円 (△63.3%) 2022年3月期第1四半期 322百万円 (-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | 56.55 | - |
| 2022年3月期第1四半期 | 71.07 | - |

(注) 前第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | 29,657 | 20,097 | 65.3 | 4,364.43 |
| 2022年3月期 | 29,396 | 20,076 | 66.0 | 4,367.75 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 19,378百万円 2022年3月期 19,392百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | - | 19.00 | - | 21.00 | 40.00 |
| 2023年3月期 | - | - | - | - | - |
| 2023年3月期 (予想) | - | 20.00 | - | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期 (累計) | 11,100 | 2.3 | 550 | △25.9 | 650 | △21.4 | 450 | △22.0 | 101.35 |
| 通期 | 22,100 | 2.3 | 1,170 | △16.6 | 1,360 | △14.1 | 950 | △13.8 | 213.96 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期1Q | 4,450,000株 | 2022年3月期 | 4,450,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期1Q | 9,961株 | 2022年3月期 | 9,961株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年3月期1Q | 4,440,039株 | 2022年3月期1Q | 4,440,039株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)における我が国経済は、1～3月期がマイナス成長となりましたが、その後、行動制限の緩和を背景に個人消費が増加したほか、設備投資や公共投資も増加し4～6月期はプラス成長になるとの予想が散見されます。

鉱工業生産指数は1月に部材供給不足や新型コロナウイルス感染症急拡大などの影響を受けて低下しましたが、2月と3月は部材供給不足や新型コロナウイルス感染症拡大の影響が緩和したことなどを受けて2か月連続で上昇しました。4月から5月は中国の都市封鎖にともなう部品の供給不足などにより低下しましたが、6月には都市封鎖が解除されて上昇に転じました。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であり、当第1四半期連結累計期間の業績も、内外の工業生産動向を反映したものになりました。また、ウクライナ紛争の長期化などにより、資源価格が高止まりしている環境が続いております。連結売上高は5,364百万円で前年同期に比して338百万円の増収でした。売上高が増加しましたが、原材料やエネルギー価格などの高騰により原価率が上昇した結果、営業利益259百万円(前年同期比115百万円の減益)、経常利益354百万円(同96百万円の減益)および親会社株主に帰属する四半期純利益251百万円(同64百万円の減益)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第1四半期連結累計期間の出荷数量(ゴミ袋を除く)は、前年同期比+0.5%となり、前年を僅かながら上回りました。合成樹脂、化学薬品、セメント用途が大きく減少したほか、澱粉、飼料の用途が減少しましたが、米麦、製粉、塩、砂糖甘味等の食品用途全般が増加しました。重包装袋の主原材料であるクラフト紙の価格は原燃料費の急騰を背景に春以降に値上がりしています。

当社の売上数量は前年同期比2.2%の増収でした。業界の傾向に準じて、合成樹脂、セメント用途が減少、米麦、製粉、塩、砂糖甘味の用途が増加しました。化学薬品用途は業界の傾向に反して増加しました。

子会社の九州紙工㈱は、米麦袋、一般袋ともに大幅に売上を伸ばし、売上数量は前年同期から27.9%増加しました。タイ昭和パックス㈱の当第1四半期連結累計期間(1～3月)は、同社従業員の新型コロナウイルス感染者発生による製造数の減少と、自動車メーカーの減産および輸送コンテナ不足による出荷の先送りの影響もあって、売上数量は14.2%の減少でした。山陰製袋工業㈱の当第1四半期連結累計期間(1～3月)は、主力の両底貼袋が前年並みに止まったことで売上数量は前年同期比0.2%の微減となりました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は3,198百万円で、前年同期からほぼ横ばいとなりました。

○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第1四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期から産業用、農業用ともに増加となりました。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格は、原油およびナフサ価格の上昇を受けて値上がりが続いています。

当社の売上数量は産業用、農業用ともに増加し、合計では前年同期比+7.6%でした。産業用で熱収縮包装フィルム「エスタイト」、マスキングフィルム「HQF」、農業用でハウスフィルム「バーナルハウス」、サイレージ用ロールベールフィルム「エスラップ・グリーン」が増加しました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は1,020百万円で、前年同期に対して15.9%の増収となりました。

○コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、業界の出荷量は、国内生産品と海外生産品を合わせると、化学工業品、食品用途が増加となりましたが、合成樹脂用途が大幅に減少しました。全体では前年同期から減少となる見通しです。海外からの輸入量の全体は前年から少し増加しています。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、前年同期比+10.5%でした。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」は増加、液体輸送用1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」、液体輸送用コンテナライナー「エスタック」は前年同期から減少しました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は429百万円で、前年同期に対して9.8%の増収となりました。

○不動産賃貸

賃貸契約内容に変動はありません。当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は前年同期から横ばいの63百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末総資産は29,657百万円で、前連結会計年度末に比べて261百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金493百万円および棚卸資産385百万円、主な減少要因は投資有価証券566百万円です。

(負債)

負債合計は9,560百万円で、前連結会計年度末に比べて240百万円増加しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金278百万円およびその他の流動負債500百万円、主な減少要因は未払法人税等101百万円、賞与引当金178百万円および繰延税金負債176百万円です。

(純資産)

純資産合計は20,097百万円で、前連結会計年度末に比べて20百万円増加しました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益251百万円および為替換算調整勘定231百万円、主な減少要因はその他有価証券評価差額金394百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると増収減益の結果となりました。原材料やエネルギー価格などの高騰による原価率の上昇が減益の主要因です。第2四半期以降は引き続き採算を改善していくよう努めてまいります。当連結会計年度(2022年4月1日～2023年3月31日)通期の業績見通しにつきましては、現状では当初の予想(2022年5月12日発表)を変更せず、連結売上高22,100百万円、連結経常利益1,360百万円、親会社株主に帰属する当期純利益950百万円を見込みます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,047,076 | 8,540,237 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,159,514 | 6,067,283 |
| 電子記録債権 | 678,800 | 760,816 |
| 商品及び製品 | 1,074,091 | 1,361,478 |
| 仕掛品 | 112,213 | 139,116 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,100,263 | 1,171,694 |
| その他 | 296,469 | 228,037 |
| 貸倒引当金 | △11,638 | △12,810 |
| 流動資産合計 | 17,456,791 | 18,255,852 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 8,653,856 | 8,762,026 |
| 減価償却累計額 | △6,181,031 | △6,279,017 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,472,824 | 2,483,008 |
| 機械装置及び運搬具 | 10,449,126 | 10,620,652 |
| 減価償却累計額 | △9,037,804 | △9,215,359 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,411,322 | 1,405,292 |
| 土地 | 900,539 | 912,711 |
| 建設仮勘定 | 27,108 | 50,786 |
| その他 | 853,623 | 861,407 |
| 減価償却累計額 | △770,569 | △782,469 |
| その他(純額) | 83,053 | 78,938 |
| 有形固定資産合計 | 4,894,848 | 4,930,737 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 146,031 | 146,930 |
| 無形固定資産合計 | 146,031 | 146,930 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,014,671 | 5,448,399 |
| 退職給付に係る資産 | 687,413 | 694,449 |
| 繰延税金資産 | 59,522 | 61,969 |
| その他 | 144,444 | 126,843 |
| 貸倒引当金 | △7,660 | △7,660 |
| 投資その他の資産合計 | 6,898,392 | 6,324,001 |
| 固定資産合計 | 11,939,272 | 11,401,668 |
| 資産合計 | 29,396,063 | 29,657,521 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,356,599 | 3,635,202 |
| 電子記録債務 | 1,529,767 | 1,499,527 |
| 短期借入金 | 1,060,000 | 1,059,000 |
| 未払法人税等 | 267,767 | 166,007 |
| 賞与引当金 | 388,751 | 210,214 |
| 役員賞与引当金 | 21,680 | 12,090 |
| 設備関係支払手形 | 18,659 | 22,309 |
| 営業外電子記録債務 | 45,709 | 28,889 |
| その他 | 654,484 | 1,154,770 |
| 流動負債合計 | 7,343,420 | 7,788,012 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 66,000 | 66,000 |
| 繰延税金負債 | 1,357,706 | 1,180,997 |
| 役員退職慰労引当金 | 150,127 | 109,560 |
| 退職給付に係る負債 | 229,976 | 244,643 |
| 資産除去債務 | 4,435 | 4,435 |
| 長期預り保証金 | 162,993 | 162,159 |
| その他 | 4,634 | 4,206 |
| 固定負債合計 | 1,975,873 | 1,772,003 |
| 負債合計 | 9,319,293 | 9,560,015 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 640,500 | 640,500 |
| 資本剰余金 | 289,846 | 289,846 |
| 利益剰余金 | 15,285,967 | 15,443,815 |
| 自己株式 | △9,441 | △9,441 |
| 株主資本合計 | 16,206,872 | 16,364,720 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,774,361 | 2,379,467 |
| 為替換算調整勘定 | 162,937 | 394,873 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 248,826 | 239,163 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,186,125 | 3,013,504 |
| 非支配株主持分 | 683,771 | 719,280 |
| 純資産合計 | 20,076,770 | 20,097,505 |
| 負債純資産合計 | 29,396,063 | 29,657,521 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 5,026,068 | 5,364,396 |
| 売上原価 | 4,022,486 | 4,454,339 |
| 売上総利益 | 1,003,581 | 910,057 |
| 販売費及び一般管理費 | 628,632 | 650,549 |
| 営業利益 | 374,949 | 259,508 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 369 | 392 |
| 受取配当金 | 66,497 | 85,619 |
| その他 | 11,575 | 11,311 |
| 営業外収益合計 | 78,442 | 97,322 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,071 | 2,027 |
| その他 | 250 | 184 |
| 営業外費用合計 | 2,321 | 2,212 |
| 経常利益 | 451,070 | 354,617 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 451,070 | 354,617 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 117,080 | 88,506 |
| 法人税等調整額 | 2,011 | 586 |
| 法人税等合計 | 119,091 | 89,092 |
| 四半期純利益 | 331,978 | 265,524 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 16,408 | 14,436 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 315,569 | 251,088 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 331,978 | 265,524 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △96,370 | △395,221 |
| 為替換算調整勘定 | 93,494 | 257,706 |
| 退職給付に係る調整額 | △7,016 | △9,663 |
| その他の包括利益合計 | △9,892 | △147,178 |
| 四半期包括利益 | 322,085 | 118,346 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 295,872 | 78,467 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 26,213 | 39,879 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|-----------|------------|---------|--------|-----------|------------|-----------|
| | 重包装袋 | フィルム 製品 | コンテナ | 不動産賃貸 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 3,196,913 | 880,866 | 391,246 | - | 4,469,026 | 492,815 | 4,961,842 |
| その他の収益 | - | - | - | 64,226 | 64,226 | - | 64,226 |
| 外部顧客に対する売上高 | 3,196,913 | 880,866 | 391,246 | 64,226 | 4,533,252 | 492,815 | 5,026,068 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 3,196,913 | 880,866 | 391,246 | 64,226 | 4,533,252 | 492,815 | 5,026,068 |
| セグメント利益 | 313,575 | 77,060 | 2,129 | 40,041 | 432,806 | 40,673 | 473,480 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 432,806 |
| 「その他」の区分の利益 | 40,673 |
| 全社費用(注) | △98,530 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 374,949 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|-----------|------------|---------|--------|-----------|------------|-----------|
| | 重包装袋 | フィルム 製品 | コンテナ | 不動産賃貸 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 3,198,104 | 1,020,671 | 429,430 | - | 4,648,206 | 652,329 | 5,300,535 |
| その他の収益 | - | - | - | 63,861 | 63,861 | - | 63,861 |
| 外部顧客に対する売上高 | 3,198,104 | 1,020,671 | 429,430 | 63,861 | 4,712,067 | 652,329 | 5,364,396 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 3,198,104 | 1,020,671 | 429,430 | 63,861 | 4,712,067 | 652,329 | 5,364,396 |
| セグメント利益 | 238,022 | 44,808 | 2,613 | 40,750 | 326,195 | 39,176 | 365,372 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 326,195 |
| 「その他」の区分の利益 | 39,176 |
| 全社費用(注) | △105,863 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 259,508 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。